

長崎県の美しいまちづくり

島原市森岳編

まちづくり人づくり

其ノ十

水 島

の都島原。豊富な湧水がまちなかを流れる島原市は、その特色を活かしたまちづくりが熱心に行われています。今回は長崎県美しいまちづくり景観資産に7件の登録がある、島原市森岳をご紹介します。

原城下最古の商店街である森岳では、商店主たちによるまちづくりが盛んです。

まちの景観をより良くするための住民協定が結ばれてから、道路と沿道の商店や民家の改修が行われ、城下町にふさわしい雰囲気をより引き立てています。

この地区で登録されている景観資産はすべて大正時代以前の建物で、古くは天保年間に建てられたものもあり、旅籠や理髪店として利用されていたものなど様々です。当時の

おもかげを残しつつ改修が行われ、今ではギャラリーやカフェ、交流施設としてよみがえっています。7件のうち1件だけ、ひょっこり洋館がまぎれています。壁をよく見ると絵が施されていたり、小さな発見は尽きません。

岳商店街の街路灯は、一風変わっています。大きさも子どもの背丈ほど。昼間にはもしかすると、見つけづらいかもしれません。行灯のような形で、やわらかな灯りがまちをやさしく包みます。側面に貼られた銅板には、島原にちなんだ和歌や俳句がちりばめられています。誰もが知っている歌人や、生糸の島原人など、詠み手もさまざま。彼らがどんな思いで唄を詠んだのか想像してみるのも一興です。通りの所々にはこんこんと湧き出

湧水があります。手入れが行き届いていますが、ともすると見逃してしまってほどさりげなく溶けこみ、まちに彩りを添えています。誰もが飲める件だけ、ひょっこり洋館がまぎれています。壁をよく見ると絵が施されているのも、うれしい心遣いです。

こんな小さな宝物を、人々が大事に育むまち森岳。ふと目に留まったものが、もしかすると森岳の新たな宝かもしれません。もし、これはと思うものを見つけた方は、こつそり教えてください。

